



令和2年11月26日

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

日本博事業

企画展「日本のたてもの —自然素材を活かす伝統の技と知恵」 《国立科学博物館 会場テーマ：近代の日本、様式と技術の多様化》 開催およびプレス内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：林 良博）は、文化庁、日本芸術文化振興会、東京国立博物館、読売新聞社と共催で、2020（令和2）年12月8日（火）から2021（令和3）年1月11日（月・祝）までの期間、別紙のとおり、企画展「日本のたてもの —自然素材を活かす伝統の技と知恵」《国立科学博物館 会場テーマ：近代の日本、様式と技術の多様化》を開催いたします。

また、本企画展の開幕に先立ち12月7日（月）に別添のとおりプレス内覧会を実施いたしますので、併せてご案内申し上げます。

文化庁、日本芸術文化振興会、東京国立博物館、国立科学博物館、読売新聞社が主催する展覧会「日本のたてもの —自然素材を活かす伝統の技と知恵」（「日本博」事業）では、木・草・土・石など多様な自然素材を優れた造形物に発展させてきた日本の建築を主題として、その要素を高い加工技術で凝縮した「建築模型」などの建築資料に焦点を当て、古代から現代までの代表的な名建築を通史的に概観します。

展覧会「日本のたてもの —自然素材を活かす伝統の技と知恵」は3つの会場（国立科学博物館・東京国立博物館・国立近現代建築資料館）で開催することとなっておりますが、12月8日（火）に開幕する国立科学博物館会場では、「近代の日本、様式と技術の多様化」をテーマとして、主に近代以降の日本の建築やその様式について、12点の「建築模型」や図面・建築素材といった関連資料を展示し、紹介します。

国立科学博物館では、本企画展の開幕に先立ち、別添のとおり12月7日（月）午後3時～午後4時の間、プレス内覧会を実施します。広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。

【国立科学博物館会場に関するお問い合わせ先】

国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当
〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20
TEL：03-5814-9840、9885、9142 FAX：03-5814-9898
E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp



AN CULTURAL EXPO 2020
令和2年度日本博主催・共催型プロジェクト



企画展「日本のたてもの ―自然素材を活かす伝統の技と知恵」

国立科学博物館 会場テーマ：近代の日本、様式と技術の多様化 基本情報

【会 場】国立科学博物館 日本館 1 階 企画展示室（東京都台東区上野公園 7-20）

【会 期】2020（令和 2）年 12 月 8 日（火）～2021（令和 3）年 1 月 11 日（月・祝）

【開館時間】午前 9 時～午後 5 時（金・土曜日は午後 6 時まで）

【休 館 日】毎週月曜日（ただし、1 月 11 日（月・祝）は開館）、2020 年 12 月 28 日（月）
～ 2021 年 1 月 1 日（金・祝）※会期等は変更となることがあります。

【観覧料金】常設展示入館料のみでご覧いただけます。

一般・大学生：630 円（税込）、高校生以下および 65 歳以上無料

【入館方法】新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を実施しています。

※入館にあたっては、当館ホームページでの事前予約が必要となります。

※入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。

※入館方法の詳細等については、当館ホームページの予約サイトをご覧ください。

<https://www.kahaku.go.jp/news/2020/reservation/index.html>

【主 催】国立科学博物館、文化庁、日本芸術文化振興会、東京国立博物館、読売新聞社

【特別協賛】キヤノン、JR 東日本、日本たばこ産業、三井不動産、三菱地所、
明治ホールディングス

【協 賛】清水建設、高島屋、竹中工務店、三井住友銀行、三菱商事

【協 力】国立歴史民俗博物館、金沢工業大学

【展示概要】別添の本企画展チラシ参照

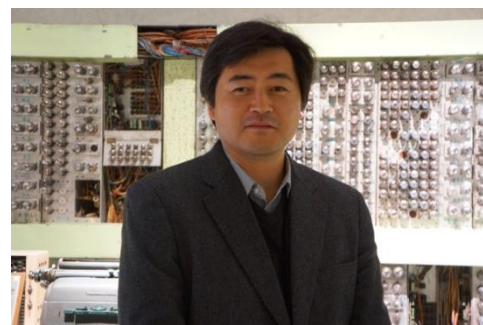
展示監修者



国立科学博物館 理工学研究部 科学技術史グループ
研究主幹 久保田 稔男（くぼた としお）

専門は近代建築史。

鉄道営繕組織の変遷に関する研究や煉瓦を中心とした歴史的建築部材に関する研究を行っています。



国立科学博物館 理工学研究部 科学技術史グループ
グループ長 前島 正裕（まえじま まさひろ）

専門は電気技術史。

特に幕末・明治初期において、歴史に埋もれた人物や資料を掘り起こしています。また各研究機関などに残された、散逸の可能性のある資料の調査や、工学系学会における調査・顕彰活動などを通じて、資料の保全に努めています。

「日本のたてもの ―自然素材を活かす伝統の技と知恵」他会場の情報

【公式サイト】<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/tatemono/>

東京国立博物館 会場テーマ：古代から近世、日本建築の成り立ち

【会場】東京国立博物館 表慶館

【会期】2020（令和2）年12月24日（木）～2021（令和3）年2月21日（日）

国立近現代建築資料館 会場テーマ：工匠と近代化―大工技術の継承と展開―

【会場】国立近現代建築資料館

【会期】2020（令和2）年12月10日（木）～2021（令和3）年2月21日（日）

※他会場の開館時間・休館日・観覧料金・入館方法等については、公式サイト等でご確認ください。

【「日本のたてもの」全般に関するお問い合わせ先】

「日本のたてもの」広報事務局 担当：平野、池袋

〒150-8551

東京都渋谷区渋谷 1-3-9 ヒューリック渋谷一丁目ビル 3F

TEL：03-3406-3419 FAX：03-3499-0958

E-mail：tatemono@ypcpr.com

令和2年11月26日

報道関係各位

独立行政法人国立科学博物館

企画展「日本のたてもの ―自然素材を活かす伝統の技と知恵」
《国立科学博物館 会場テーマ：近代の日本、様式と技術の多様化》
プレス内覧会のお知らせ
2020(令和2)年12月7日(月)午後3時～／国立科学博物館

国立科学博物館では、企画展「日本のたてもの ―自然素材を活かす伝統の技と知恵」の開幕に先立ち、下記のとおりプレス内覧会を実施いたします。

当日は、当館担当研究者等による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸いです。

記

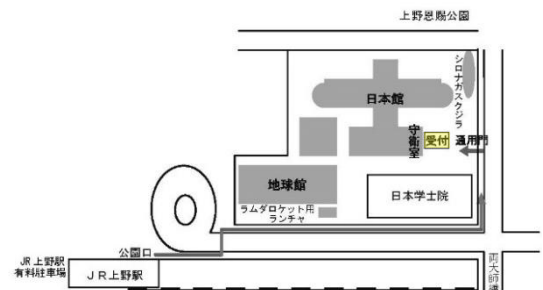
【日時】 2020(令和2)年12月7日(月)午後3時～午後4時

(受付開始 午後2時30分～)

【会場】 国立科学博物館 日本館1階企画展示室 (東京都台東区上野公園7-20)

【受付場所】 日本館1階守衛室前 ※下記地図の通り通用門からお入りください。

＜アクセス＞ JR上野駅公園口から徒歩5分
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩10分
京成電鉄上野駅から徒歩10分
※駐車場および駐輪場の用意はございません。



当日のスケジュール

午後2時30分～

受付開始 (受付場所：日本館1階守衛室前
※通用門からお入りください)

午後3時～午後4時

プレス内覧会 (会場：日本館1階企画展示室)

- ・当館担当研究者等による展示解説を行い、皆様からのご質問にお答えします。

【主な解説者】

理工学研究部 科学技術史グループ 研究主幹 久保田 稔男
理工学研究部 科学技術史グループ長 前島 正裕

- ・一部を除き展示室内の撮影が可能です。

お願い

次の方のご参加は不可とさせていただきます。

- ・ 当日体温が 37.5 度以上の方
- ・ その他、発熱、咳、息苦しさ、下痢、倦怠感、吐き気、頭痛、嗅覚異常、味覚異常等、平常時と違う症状をお感じの方

①. 来館時

- ・ 受付前に検温、体調等の確認をし、発熱や上記の症状がある方は入館をお断りします。
※館内で激しく咳き込むなど、風邪のような症状がある方には、退館をお願いする場合があります。
- ・ マスクの着用をお願いします（内覧時も含む）。
- ・ 会場内の「3 密」を防ぐため、入場者数を制限する場合があります。

②. 内覧時

- ・ 対人距離をなるべく 2m 以上あけるようお願いします。
- ・ 間隔調整のため、各展示は譲り合ってご覧いただき、複数の方が一か所に滞留しないようお願いいたします。
- ・ 会場内の展示物や壁面などには触れずに観覧してください。
- ・ 会場内での会話は必要最小限にお控えください。

③. 来館後

- ・ 万が一、体調不良等が起こった場合は必ず国立科学博物館企画展担当までご連絡ください。

お申込み方法

プレス内覧会に参加をご希望の方は 12 月 3 日(木)午後 5 時までに、件名に 企画展「日本のたてももの」プレス内覧会申込 と明記のうえ、参加を希望されるすべての方の「お名前、ご所属、緊急連絡先（携帯電話番号）、メールアドレス」を、国立科学博物館企画展担当 kikakuten@kahaku.go.jp までご連絡ください。

上記アドレスより折り返しのメール連絡をもって受付完了とします（概ね 3 日以内にお返事します）。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるよう、ご設定ください。

代表者の方がまとめてお申込みされる場合も、すべての方の「お名前、ご所属、緊急連絡先（携帯電話番号）、メールアドレス」をご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※いただいた個人情報は、プレス内覧会以外の連絡には使用しません。

また、厳重に管理し、プレス内覧会終了後、1 ヶ月以内に破棄いたします。

【プレス内覧会（12/7）に関するお問合せ・お申込み先】
国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当
〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20
TEL：03-5814-9840、9885、9142 FAX：03-5814-9898
E-mail：kikakuten@kahaku.go.jp

Special Exhibition

Japanese Architecture: Traditional Skills and Natural Materials



企画展 日本の たてもの

建築模型
大集合!

自然素材を活かす伝統の技と知恵



会場テーマ

近代の日本、様式と技術の多様化

Diverse Styles and Skills in Japanese Modern Architecture

2020

12.8

[火]

事前予約制

(オンライン予約)

2021

1.11

[月・祝]

国立科学博物館

(東京・上野公園)
National Museum of Nature and Science (Ueno Park, Tokyo)

日本館 1 階企画展示室

〔主催〕 国立科学博物館、文化庁、日本芸術文化振興会、東京国立博物館、読売新聞社

〔特別協賛〕 Canon JR東日本 JT 三井不動産 三菱地所 meiji 〔協賛〕 清水建設 Takashimaya TAKENAKA SMBC 三菱商事

〔協力〕 国立歴史民俗博物館、金沢工業大学

〔開館時間〕 午前9時～午後5時 ＊金曜・土曜日は午後6時まで開館

〔休館日〕 月曜日、2020年12月28日(月)～2021年1月1日(金・祝)

＊ただし、1月11日(月・祝)は開館

〔入館料〕 一般・大学生630円(税込) (高校生以下および65歳以上無料)

＊常設展示入館料のみでご覧いただけます。

＊入館は事前予約制となります。詳細はホームページをご覧ください。

＊会期等は変更となることがあります。

〔お問い合わせ〕 TEL.03-5777-8600 (ハローダイヤル) FAX.03-5814-9898

<https://www.kahaku.go.jp/>



国立科学博物館

National Museum of Nature and Science

企画展

日本のたてもの

Special Exhibition Japanese Architecture: Traditional Skills and Natural Materials

自然素材を活かす伝統の技と知恵

会場テーマ

近代の日本、様式と技術の多様化

Diverse Styles and Skills in Japanese Modern Architecture

本展は3つの会場（国立科学博物館・東京国立博物館・国立近現代建築資料館）で開催する展覧会「日本のたてもの ―自然素材を活かす伝統の技と知恵」の1会場である国立科学博物館で開催する企画展です。国立科学博物館会場では、「近代の日本、様式と技術の多様化」をテーマとして、主に近代以降の日本の建築やその様式について、12点の「建築模型」や図面・建築素材といった関連資料を展示し、紹介します。

第1章：西洋建築への理解

明治時代になると、徐々に西洋建築が理解され、さまざまな建築が建てられました。まず日本人棟梁達による洋風建築や外国人建築家による建築があり、その後、欧米への留学や近代的な建築工を学んだ日本人建築家による建築がなされました。

展示模型：第一国立銀行・三菱一号館・石巻ハリストス正教会・迎賓館赤坂離宮



迎賓館赤坂離宮

第2章：近代建築の発展

明治時代に大学などの教育機関における建築教育が整備され、西洋建築への理解が蓄積された後、大正から昭和にかけては欧米の最先端の建築思潮が日本の建築にも影響を与えました。他方で、日本独自の近代建築のあり方も模索されました。



三井銀行京都支店

展示模型：三井銀行京都支店・帝国ホテル旧本館・旧東京科学博物館本館・高島屋東京店

第3章：新しい都市と建築の姿

戦後の高度成長に伴い、鉄骨や鉄筋コンクリートの構造的な理解が進むと、その特性を活かした高層建築が出現しました。また、世界的に活躍する建築家による、優れたデザインと技術力を兼ね備えた日本の建築は、国際的な水準に比肩するものとなりました。



東京都庁舎

展示模型：霞が関ビルディング・東京都庁舎

第4章：建築と自然、これから

20世紀後半以降、それまでの建築のあり方に対して、自然との調和や回帰を目指した多様な建築の広がりが見られるようになりました。建築と自然が調和した例を紹介します。



光の教会

展示模型：京都迎賓館・光の教会

「日本のたてもの」を見に行ってみよう！

近代以降に多様な発展を遂げた日本のたてものは、今なお現存しているものや、復元され当時の姿が残されているものも多くあります。展示を見終えた後は、実際の建築を訪ねてみませんか？



帝国ホテル中央玄関（博物館 明治村）

「日本のたてもの ―自然素材を活かす伝統の技と知恵」 他会場の情報

※他会場の開館日・開館時間・観覧料金・入館方法等については、公式サイト等でご確認ください。

公式サイト：<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/tatemono/>

会場：東京国立博物館 表慶館

テーマ：古代から近世、日本建築の成り立ち

会期：2020年12月24日（木）～2021年2月21日（日）

<https://www.tnm.jp/>

会場：国立近現代建築資料館

テーマ：工匠と近代化―大工技術の継承と展開―

会期：2020年12月10日（木）～2021年2月21日（日）

<https://nama.bunka.go.jp/>



<アクセス>

◆JR

「上野駅」公園口から徒歩5分

◆東京メトロ 銀座線・日比谷線

「上野駅」から徒歩10分

◆京成電鉄

「京成上野駅」正面口から徒歩10分

※当館には駐車場および駐輪場はありません。

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

FAX: 03-5814-9898

入館に際しての注意事項

●入館の際は、当館ホームページでの事前予約が必要です。

●入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。

●入館中はマスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。

※入館方法の詳細等については、当館ホームページをご覧ください。

<https://www.kahaku.go.jp/>

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの各種手続き・報道関係資料→写真の貸出からお申込みできます。
(<https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html>)



①「日本のたてもの ―自然素材を活かす伝統の技と知恵―
国立科学博物館会場ポスター



②第一国立銀行 1/50模型
国立科学博物館蔵



③帝国ホテル旧本館 1/200模型
株式会社帝国ホテル蔵



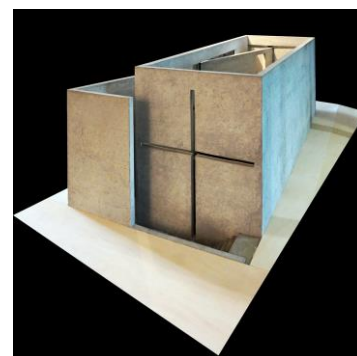
④旧東京科学博物館本館 1/75模型
国立科学博物館蔵



⑤高島屋東京店 1/80模型
高島屋史料館蔵



⑥霞が関ビルディング 1/200模型
国立科学博物館蔵



⑦光の教会 1/10模型
安藤忠雄建築研究所蔵

【記事利用の際のお願い】

- * 写真使用は本展（科博会場）の紹介のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- * 写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- * 記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は確認のため、校正の段階でお送りください（記事内容をチェックするものではありません）。
- * ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りくださいますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先〉国立科学博物館 事業推進部 企画展示課 企画展担当

電話 03-5814-9840、9885、9142 FAX 03-5814-9898

E-mail : kikakuten@kahaku.go.jp

〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20